

はしがき

日本大学文理学部自然科学研究所

研究活動報告書

日本大学文理学部自然科学研究所研究活動報告書の創刊号をお届けいたします。自然科学研究所所員の研究活動については、従来、自然科学研究所「研究紀要」に掲載してきましたが、平成14年度より、研究論文誌としての「研究紀要」と分け、研究活動報告については「自然科学研究所研究活動報告書」として別個に発行していくことになりました。諸般の事情によりその発行が遅れましたが、従来より記載内容の充実を図ったものです。

日本大学文理学部自然科学研究所は、文理学部理系7学科の専任教員で構成されています。すなわち、地理学科、地球システム科学科、数学科、情報システム解析学科、物理学科、応用物理学科、化学科の教授、助教授、専任講師を正式所員（平成15年3月現在で67名）とし、さらに助手や一部の副手、研究員（A、B）が加わって多彩な活動を展開しています。

本報告書には自然科学研究所独自の活動として、研究集会補助金によるシンポジウム・講演会などの研究集会、研究所共同研究費に基づく共同研究を紹介しています。

平成14年度は2つの研究集会が、それぞれ物理・応用物理学科、および化学科の所員が中心になって開催されました。共に国内・国外の第一線の研究者による充実した集会となりました。また、平成14年度は文理学部創立50周年にあたり、これを記念して講演会が開催されました。科学研究費に基づく国際研究集会も行われました。

これらについても所員が中心になって取り組まれたもので、合わせて掲載しました。

自然科学研究所共同研究は所員が領域の垣根を越えた共同研究を推進することを目指したものです。

平成14年度は4つの共同研究が行われました。研究の概要と結果を紹介しています。

さらに、平成12年度から実施されている、文理学部ハイテクリサーチセンター推進事業の3つのプロジェクトについてもその概要を掲載しています。これは日本大学大学院総合基礎科学研究科を中心に自然科学研究所の所員の多くが参画しているものです。そのほか、文理学部個人研究費、文部科学省科学研究費、受託研究などに基づく所員の多様な研究が進められています。これらの概要についても紹介しています。

最後に、本研究所所員の研究業績一覧を掲載しました。

本研究所は、他大学の研究者を始め、産業界や国公立諸機関との交流や連携を一層強めていく考えです。

そうした開かれた多様な研究活動を展開すると共に、地域社会をはじめ広く外部に向けて情報発信を進めていく所存です。本報告書もその一環として皆さんのお役に立つことを期待しております。

2004年 3月